

□議員名：長谷川知司

1 令和4年度市政方針について

論点	ひとを創る ア 本市の特色ある学校教育とは イ 児童生徒の増減への対応
回答	ア 包括連携を核とした山口東京理科大学との連携教育 理数教育の充実、キャリア教育の推進 イ 適正規模・適正配置基本方針に従って教育環境を確保

論点	まちの価値を創る ア 厚狭駅南の整備・利活用 イ 青年の家、糸根公園の利活用 ウ LABVの今後
回答	ア 駅南の商業事業施設の立地誘導の継続 イ ソフト事業を練り上げ、基本計画策定する ウ 企画課内にPPP/PFI推進室を設置し官民連携を推進する

論点	山口東京理科大学との連携
回答	市内小中学校における理科教育への支援。市民への知的資源、教授や学生の活用。路線バスフリー乗車。これらを含む中期基本計画の重点プロジェクトに大学との連携を横断的施策として位置付ける。

論点	市長の思いは
回答	全国初のLABVプロジェクト、地域運営組織の設立等を実現することで、市民とビジョンを共有し「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」を創り上げていきたい。